



2016年度 スローガン

夢をカタチへ

～愚直一途に仲間の幸せを追い求めよう～

中央執行委員長
竹田 玄明



方針策定に当たり

私たちの夢って何だろう。私たちにとって、幸せって何だろう。人によって夢の大きさや幸せを感じる尺度は違って当たり前です。個々が願う夢や幸せを仲間のサポートのもとに掴むことができ、その結果、周囲の仲間までが幸せに溢れたら……。こんなに嬉々として心が和むことはありません。

私たちヤナセ労働組合は、「飛躍への挑戦」のスローガンのもとに、2012年に活動の根幹となる「組合ビジョン」を策定し、それ以後、私たちと仲間の幸せを願って活動して参りました。ビジョン発足から3年経ち、「ありがとう運動」を始めとする現場活動が徐々に浸透していると実感する一方、まだまだ活動の浸透に余力がある職場もあると感じています。“私たちのありたい姿”は「仲間を大切にすること」、「常に明るくあること」、「物怖じせず言動すること」、「プロフェッショナルであること」、「夢を持ち続けること」、「家族を大切にすること」、「誠実であること」の7つの言葉に示されている通り、互いに認め合い、敬い合い、成長を喜び合える個の集合体になることです。今日まで68年もの間、ヤナセ労働組合が存続できたのは明文化こそされていなかったものの、「組合ビジョン」なる物が先達の心に深く刻み込まれていたからに他なりません。全組合員の声をもとに明文化された「組合ビジョン」が幾世代もの後世に引き継がれ浸透し続けるために、今、私たちが取り組むべきことは何かをしっかりと見定めて活動を深化させたいと考えます。

さて、日本の経済状況はまだ不安定感から脱し切れていませんが、足元の3年間、輸入乗用車市場は好況感に湧きました。この好況感を背景に伸長する売上高がもたらすプラス要素は、働く仲間同士の幸せや成長を感じる事です。しかしながら、私たちの経済的報酬から得る満足度とは裏腹に、仲間を思いやる気持ちやお互いを認め合う心の狭小さがマイナス要素としての利己主義を助長し兼ねないと感じるのは私だけでしょうか。組合活動を有形と無形に類別すれば、前者は言わずもがな、処遇改善と雇用安定に代表される経済的要求です。一方、後者は時代と共に移りゆく組合員の心のケアです。時代錯誤と言ってしまうかもしれませんが、戦後、GHQの民主化政策の一つであった労働運動はインフレ

や産業荒廃を背景にした生活条件闘争が活動のほとんどを占めていました。つまり、賃金処遇に代表される経済要求をするほか無かった時代背景がそこにはあったのです。このような状況下で、当時の労働組合には組合員の心のケアをする余裕など全く無かったのではないのでしょうか。一方、私たちの生きる現代は多少の景気の浮沈はあるものの、飽食の時代とあって生活条件闘争のみを追い求める時代でないことは自明の理です。もちろん、経済要求を真っ向から否定するつもりはありません。しかし、何事にも山があれば谷もあります。会社業績が好調な今だからこそ取り組むべきことは、「経済的報酬」に加え、私たちの「心の報酬」を得るための活動だと考えます。何故なら、いずれやって来るであろう谷の時代は私たちの「心の豊かさ」によって克服できるからです。そして、その「心の報酬」を得るための活動こそ、「夢をカタチへ」するための活動なのです。

私たちを感動の渦に巻き込んだ「ラグビーワールドカップ2015」が閉幕しました。通常は決勝トーナメントに耳目が集まりがちですが、今大会では日本代表の予選リーグが大きな注目を浴びました。番狂わせが起こりにくいスポーツと言われながら格上を含む相手に3勝を挙げたことは称賛に値します。かつて、世界ラグビー界の中でも弱小であった日本代表選手たちがワールドカップの場で素晴らしい戦績を残せたのは、チームとして明確な「ビジョン」を持ち、全ての戦略を「ビジョン」に向かわせたからに他なりません。そう、組織が団結して、「私たちにだってできる!」と思わなければならないのです。兎角、自己犠牲の先にチームの勝利（利他主義）を願うラグビーというスポーツと今大会の日本代表チームの活躍は私たちの活動に通ずるものがあるのではないのでしょうか。

私たちは副題に込めた“愚直一途に仲間の幸せを追求する”と同時に、私たちの子や孫の世代がヤナセで働きたいと思えるような風土を作らなければなりません。創業以来、先人が築き上げた100年の重みを全身で感じながら、現代の私たちに課された使命を果たし、満天の星空の中でも一際異彩を放つ一等星のようなヤナセ労働組合でありたいと考えます。



“私たち組合員はこうありたい”を実現します

完遂のための具体的な活動

● 仲間を大切にすること

～ありがとう運動、お互いに切磋琢磨すること、相手の事を思いやって行動すること、お互いの幸せを喜び合える心の育成、お互いに興味を持つこと、自分を理解してもらう前に相手を理解する～

● 常に明るくあること

～ありがとう運動、朝一番は元気な挨拶からスタートする、ネガティブシンキングからポジティブシンキングへ～

● 物怖じせず言動すること

～お互いに間違ったことは指摘し合う、相手の目を見て本音で話す（あなたが主語ではなく、私を主語にして話す）、正しいことは毅然とした態度で主張する～

● プロフェッショナルであること

～各種専門部会開催、ヤナセの従業員たるもの社内外で相応しい態度を取る、お互いが仕事には厳しいこと、整理整頓、常にチャレンジし続けること、互いの成長を称え合うこと～

● 夢を持ち続けること

～お互いの夢を語り合う、小さな夢でも達成できたら仲間と喜びを分かち合う～

● 家族を大切にすること

～ワークライフバランスの実現、趣向を凝らした福利厚生イベントや各種宿泊施設・レジャー施設の利用促進、常に感謝の気持ちを忘れない、家族の行事を大切に～

● 誠実であること

～相手の話は最後まで腹を据えて聴き尽くす、職場の問題を見過ごさない、相手のために本気で叱る、社内外でヤナセの従業員らしい振る舞いを～



尚、本年度は新たに各支部・分会に「ビジョン実行委員」を設置し、それぞれの実行委員が中心となって私たちのありたい姿を実現するための活動を推進します。具体的には、定期的にビジョン実行委員会を開催し、7つのありたい姿の実現に向けた取り組みの一つである「ありがとう運動」の進捗状況確認や新たな活動を視野に入れた議論をします。また、各支部・分会での活動事例を共有し、全国へ水平展開します。ビジョン実現へ向けた本活動は、決して押し付けではなく私たちが内発的に行動に移すことが肝要であるため、一人ひとりの心へ想いを届け、共感し合うための活動とも言えます。ビジョンの浸透・実現は一朝一夕には参りませんが、私たちは決して諦めません。仲間の幸せの先に自身の幸せがあると信じて共に活動を深化させましょう。



重点目標 ②

組合員とその家族の幸せの実現に取り組みます

完遂のための具体的な活動

- **賃金と一時金の維持・向上に取り組みます。**
～労使協議会、労務委員会の開催～
- **各種制度の検証と改善に取り組みます。**
～ワーキンググループ、労務委員会の開催～
- **ワークライフバランスの実現に取り組みます。**
～業務効率化とお互いの助け合いによる時間外労働削減、年次有給休暇の取得促進、労務管理の徹底と改善～
- **福利厚生活動を充実させます。**
～契約宿泊施設やレジャー施設の利用促進、地域・期間限定キャンペーンの実施、新規福利厚生施設の開拓、各種イベントの開催、本部・支部・分会ごとのイベント開催、カフェテリアプランの利用促進～
- **組合員のライフプランをサポートします。**
～ろうきんによる総合金融サービスの提供、組合員の生活に密着した情報紙「WAY通信」の発行、老後資金づくりを見据えたセミナー開催～
- **より良い社会と私たちの心の充足を目指して、社会貢献活動に取り組みます。**
～リングプル収集による車イス寄贈、エコキャップと外貨コイン募金による世界の子どもたちへのワクチン支援、普通救命資格取得による緊急対応能力の向上、地域小学校での交通安全教室の開催、支部・分会独自の社会貢献活動～
- **法令遵守を徹底します。**
～社会規範やモラル、就業規則の遵守、賞罰事例の共有による事案発生防止～
- **財政活動を深化させます。**
～予算の進捗管理と執行業務、円滑な精算処理業務、資産の管理や運用・研究～





重点目標 ③

処遇向上＝お客様からの全幅の信頼・安心・満足 × 組合員の高いモチベーション

完遂のための具体的な活動

● 組合員の心を豊かにします。

～私たちの処遇は従業員のやる気が漲り、従業員全員が誠意をもってお客様に向き合えば自ずと向上します。各種委員会を通じて全国から持ち寄った「ありがとう」を共有・展開、目先の利益よりも先を見据える目を養うためのセミナー開催、女性活躍支援に繋がる他労組交流活動～

● 会社方針や計画とその進捗を確認し、組合員に伝達します。

～機関紙（つどいNET）の発行と、支部役員を通じた案内、本部三役を帯同しての職場委員会・職場集会の開催～

● 労使協議会や労務委員会を開催します。

～地域独自の諸問題の解決へ向けた提案、年間計画の進捗確認と労使間の意志疎通のための定期開催、金銭面のみならず心の充足（心の報酬）の追求、本部三役によるサポート～

● 安全衛生活動を充実させます。

～安全衛生委員会や拡大安全衛生委員会の開催を通じ、労使が常に膝を交えて対話する場を設置、問題を未然に防ぐための提案活動や職場パトロール、「安全衛生ニュース」の発行、ストレスチェック制度導入に伴う受検促進、ストレス予防活動～

● ヤナセらしさの浸透、気付きに注力します。

～組合ビジョンは全組合員アンケートをもとに策定しました。私たちが思い描くヤナセらしさがそこには示されています。「気付き＝深い納得」であり、7つのありたい姿を常に意識し、ヤナセらしさを全組合員が語れる環境を整備、創業の精神を忘れない、社内外でヤナセらしい立ち居振る舞いを～

